伝えよう
命の尊さ
佛の心

花園会報 東園

平成28年10月1日発行
135号
宗教法人東園寺

宗教法人　東　園　寺
〒985-0026　塩釜市旭町4-1
022(362)0777　寺務所
022(364)4444　寺FAX
022(362)8651　中央幼稚園

学校法人　東園寺学園
〒985-0012　塩釜市芦畔町13-51
022(365)5616　第二中央幼稚園

種を受け継ぐ

「春に種を蒔き、夏に苗を植え、秋に刈り取り、冬にそれを蓄える。秋冬にはその収穫から酒や甘酒を造って村には喜びが満ち溢れる。その収穫の時期を迎えて、その年の労働が終わったことを悲しむものがあるだろうか？

私は30歳で死を迎えようとしている。いまだ何一つ成し遂げず世を去るのは、これまで育てた穀物が花を咲かせず、実をつけぬことに似ているかもしれない。しかし私自身について考えれば、やはり花咲き実りを得たときなので、何も悲しむべきでは無い。

人間の命の長短には定まりが無く、稲のそれとは異なるものであるが、それでも10歳で亡くなる者には10年の中に春夏秋冬が、20歳で亡くなる者には20年に四季が、30歳で亡くなる者には30年に四季が、50歳、１００歳には50年、１００年の中にそれぞれ四季があるのだ。10年の人生を短いとするのは蝉に数千年の樹齢を誇る霊椿を比すようなものであり、１００年を長いというならば、霊椿を蝉に比するようなものである。

私は30歳、すでに四季が備わり、花も実も備わっている。それが籾（しいな＝もみ殻の中がまったくカラなものや、きわめて貧弱な実が入っているもの）なのか、立派に実った粟なのかは、私が判断するところでは無い。しかし同志諸兄の中に私のささやかな真心を知り、これを受け継いでくれる者があるなら、蒔かれた種が代々受け継がれるように、豊年の如き人生に恥じることが無いであろう。同志、これをよく考思せよ。」

これは吉田松蔭が処刑の前日に門人達に宛てて書き上げたと言われる『留魂録』の一文を抄訳したものです。

人の一生は長くて１００年。しかし、その魂を受け継ぐものがあれば、その精神はもう少し長い生命を得られそうです。まさに私達の生活は先人が種蒔き育んだ実りにより成り立つもの。仏祖や自らの祖先を拝み奉ることはこれを心に刻み、謙虚に生きることです。謙虚に生きることは日々の感謝を生み、生あることに対する根本的な感謝は幸福の土台となります。

われわれ一人一人が先人より大切な種子を受け継いだ身。大切に、大切に生きぬきましょう。

松巌山東園寺　住職　千坂成也

坐禅会

毎週　日曜日　朝７時

東園寺本堂地下教化センターにて

参加無料 予約不要

- **寺宝展**
  12月10日
  午前9時～午後5時
- **除夜法要**
  12月31日
  午後11時40分
- **初閻魔（初参り）**
  1月16日

墓地に関するご質問にお答えします。

Q：永代供養～ウチには後継者がいない…。という前に！

A：東園寺の境内墓地は姓が異なる親族にも継承して頂けます。ウチの家系は絶えるという前にご親族の方に墓地の継承を相談してみては如何でしょうか？この継承にあたって費用等は一切発生しません。

Q：１つの墓地を２家族で使用出来るか？

A：１つの墓地を２家族で使用出来るかという質問を頂くことがあります。
２家族の内、どちらかの家系が今後継承子々孫々の不可能な場合は、むしろ２家族での利用は望ましいものと考えます。但し、両家ともに後継者がいる場合は３代後、４代後の将来をご考慮頂き、回避されるのが無難でしょう。尚、１つの墓地を２家族で使用する場合、維持会費は２家族が存続する限り、２軒分掛かります。

綱村公３００年遠忌、尊像開眼事業
何卒ご協力ください。

平成29年は塩釜港開港恩人四代仙台藩主伊達綱村公３００年遠忌に当たります。東園寺では綱村公の恩徳に報いるべく平成29年度より様々な記念事業を計画しています。なかでも綱村公の木像制作は過去に例を見ないもので、綱村公の御尊容を本堂に安んじ日常的に綱村公を偲ぶ縁となります。記念事業の殆どは東園寺の通常会計でまかないますが、是非この木像安置に関わる事業は檀信徒法縁各位のご協力を賜りたいと存じます。趣旨にご賛同頂ける方は本紙内の申込み用紙に必要事項をご記入の上、直接寺務所にお申込み頂きますよう懇願奉ります。

綱村公肖像粘土原型

※前回このお願いを申し上げたところ多くの檀信徒の方々より、ご協力を頂いております。誠にありがとうございます。すでにご協力を頂いている皆様にはこの一文、何卒ご放念くださいませ。

伊達綱村公肖像画

釈子塔～永代供養

釈子塔は家族単位での供養を超えて、同じ仏教徒として墓地に眠るという発想のもとに建立されました。後継者のいない方や、後継者が遠方におられるものの、自分は縁のある当地で供養されたい方が安心して永遠の安住の地として頂けるお墓です。
永代供養冥加金１霊位 10 万円（檀信徒）

釈子塔の良いところ

- お墓を建立する必要が無い。
- 現住職の墓も兼ねているので寺が存続する限り、管理が行われる。
- 後継者がいる場合も使用可能。

ご注意ください。

- 釈子塔は合葬墓です。納骨後に他所への移葬は出来ません。
- 釈子塔の永代供養は永代にわたりご命日に読経がなされるということではありません。
- その他、詳細は東園寺にお問い合わせください。

塩釜図屏風（江戸中期　東園寺部分）

伊達綱村公（1659～1719）

綱村公は父綱宗公より、わずか2歳で家督を継ぎ4代藩主となられました。幼少の砌には寛文事件というお家存亡の危機を経て成長されたせいか、綱村公は神仏への崇敬の念篤く、数多くの寺社を支援し、自らも参禅しその蘊奥を極められました。

塩竈にとっては塩竈神社の縁起を顕らかにし、社殿を大改修、さらには御舟入掘の開通で荷揚げが少なくなり疲弊した塩竈に対し、9箇条にわたる御恵みの特令（貞享の特令）を成し下して、塩竈の隆盛に多大な功績を上げられました。有難いことにこの特令は幕末まで、藩によって概ね引き継がれ、塩竈の繁栄を基礎付けたのです。

綱村公が薨去されると塩竈の村民は藩に願い出てその位牌を東園寺に安置し、その遺徳を偲びました。また、綱村公の功績は東園寺之碑に刻まれ、現在もその命日前夜には有志を集めて毎歳忌が厳修されています。

※貞享の特令

伊達藩は藩祖政宗公以来、治水と藩の運営の安定の為、河川の氾濫防止や開墾奨励を行って来ました。この成果が吉田川流域の田園地帯であります。また、藩は米の流通と運搬の為に運河の掘削を始めます。これが今日貞山運河の始まりです。御舟入掘と呼ばれたこの運河は4代綱村公の

時代に開通し、物流が盛んになりましたが、これにより港町塩竈は、荷が陸上げされなくなり、疲弊してしまい、延いては伊達家が篤く信仰する塩竈神社の護持にも影響を与えました。綱村公は歴代の藩主の中でも特に信仰の深い方でしたので塩竈神社の門前町である塩竈を救う為、貞享2年、貞享の特令と呼ばれる9箇条を下し、その再興を促したのです。その特令とは塩竈町民に対し金子250両が給付されることや、諸役(租税)が免除されること、商人荷物、海産物、材木などの荷を積んだ船は仙台寮内においてはすべて塩竈に入港すべきことなどの他、見世物芝居の興行や年市の設置を許可するというもので、これにより塩竈は大いに繁栄したのです。

綱村公300年遠諱　記念事業予算

収入

科　目	金　額	備　考
東園寺負担金	6,200,000	
志　納　金	3,000,000	1口1万円×300口
合　計	9,200,000	

支出

科　目	金　額	備　考
木　像	2,000,000	
上間改修	2,000,000	
戸　帳	2,000,000	
東園寺之碑拓本レプリカ	500,000	
記　念　誌	1,200,000	貞享特令解説 什物図録
記念講演会	500,000	
記　念　品	1,000,000	協　力　者
	9,200,000	

お願い

趣意書の通り東園寺では遠諱記念事業を計画しております。この事業に賛同し、綱村公に報恩のお気持ちをお供え頂ける方は、添付の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、志納金と共に寺務所にお届けください。尚、このお願いは決して強制ではございません。あくまで趣旨にご賛同頂けると共に文字通りご喜捨頂ける方への勧募です。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

ご協力を頂いた方には遠諱法要にご案内申し上げる他、ご芳名を本堂内に掲示致します。諸準備の都合上、お申し込み締め切りを平成29年5月5日と致します。

※前回のご案内で法要開催日を平成29年6月19日と記載致しました。正式な法要日は未定です。ご協力者には改めてご案内申し上げます。

綱村公３００年遠忌記念事業協力申し込み用紙

綱村公３００年遠忌記念事業協力事業の趣旨に賛同し、下記金額を奉納します。

ご芳名

ご住所

お申し込み口数　　一口壱万円×（　　）口＝　　円

書道教室（中央）

体育教室（中央）

美味しい給食（中央）

盆踊り（中央）

コンサート（中央）

坐禅（中央）

水泳教室（中央）

THE ZEN CLUB K&B GYM

東園寺研修センター内にある
スポーツクラブです。
東園寺檀信徒は入会金が免除になります。

お問合せ	利府町加瀬字野中沢 90-1 TEL022-356-7071

幼稚園だより

塩釜中央幼稚園・塩釜第二中央幼稚園

美味しい給食（第二）

運動会（第二）～これからの行事

節分（第二）～これからの行事

水泳教室（第二）

あそびうたコンサート（第二）

お茶（第二）

盆踊り（第二）

行事報告

８月１４日新亡供養

８月１２日精霊迎え

９月11日米国臨済寺の皆さんが来山

９月１日地蔵流し法要 仏教文化講演会

● 寺で婚活！
寺コン11近日開催！
詳細は東園寺ホームページ、
Facebookでご案内致します。

● 除夜の鐘
12月31日午後11時40分頃より

● 成道会～悟りの夕べ　12月10日
午後5時より

● 毎週日曜日朝7時　坐禅会

yahooブログ「布袋の袋」法話会の情報
東園寺ホームページhttp://www.toenji.com

●寺宝展　新添の塩釜絵図屏風
（江戸中期）を初公開！
日時：平成28年12月10、11日
午前9時～17時まで

表紙解説

表紙の絵は江戸中期に制作された塩釜図です。中央に賑やかな塩釜の町並みが描かれ、画面向かって左上に塩釜神社と別当寺であった法蓮寺が配置されます。また東園寺は右下の切り立った海にほど近い岩上にあり、往時の風景を偲ぶことが出来ます。この絵の特徴は町かどや塩釜神社境内に人物がいきいきと描かれていることです。残念ながら会報の画像ではその人物の姿を詳細にお伝えすることは出来ません。是非、寺宝展にご来臨頂き実物をご鑑賞ください。